

「モノを動かす技術」で 心豊かに生きられる社会を創造する

ダイフクグループは、2021年10月に経営理念を改定しました。新しい経営理念「モノを動かし、心を動かす。」には、ダイフクの競争力の源泉である「モノを動かす技術」で、人々の豊かな暮らしや、環境・人権といった観点を含む持続可能な社会の創造を目指していくという決意を込めています。

経営理念

モノを動かし、心を動かす。

ダイフクは、マテリアルハンドリングを核とする「モノを動かす技術」で、心豊かに生きられる社会を創造します。

私たちは、

- 1 人と環境への負荷を最小化し、人権の尊重と責任あるものづくりを
実践することで、持続可能な社会の実現に貢献します。
- 2 世界のお客さまと誠実に向き合い、革新的技術と最適最良のソ
リューションでスマート・ロジスティクスを実現します。
- 3 多様性を尊重する自由闊達な企業風土のもと、一人ひとりが変革に
挑戦します。同時に、経営基盤を強化し透明性の高いグローバル
経営を行います。

ブランドメッセージ

経営理念の改定に伴い、ブランドメッセージを「Always an Edge Ahead」から、「Automation that Inspires」に変更しました。

<DAIFUKUロゴとの組み合わせ>

DAIFUKU
Automation that Inspires



持続可能な社会の実現に向けて 経営理念を改定

従来の経営理念は、2013年に改定したものです。当時に比べて、ダイフクグループを取り巻く事業環境は大きく変化しました。加えて、コロナ禍によるニューノーマルへの移行が進み、社会環境も変化しています。

また、2021年4月を起点とする中期経営計画「Value Transformation 2023」では、ダイフクグループ自身の変革に取り組んでいく方針や、持続可能な社会の実現への貢献に向けてサステナビリティ経営を推進していくことを盛り込んでいます。

これらの背景から、経営理念を改定することにいたしました。

改定に当たっては、役員によって構成するプロジェクトを発足し、約8カ月間にわたって検討しました。ダイフクの社風や強み、果たすべき使命、目指す姿、存在意義など盛り込むべき内容を議論し、新しい経営理念は「モノを動かし、心を動かす。」に決定いたしました。

従業員一人ひとりがこの経営理念を実践していくため、より具体的な指針を3点付記しています。新しい経営理念のもと、一人ひとりが提供価値の変革を進め、ダイフクグループの持続的な成長と、持続可能な社会の実現への貢献を目指してまいります。

代表取締役社長 下代 博